

ロードサイド初等学校
2024年7月～10月のプロジェクト進捗報告

プロジェクト名：ウガンダのミティアナ地域の学校の生徒と女性の月経衛生管理の改善

活動内容：再利用可能な生理用布ナプキン作りの技能向上と月経衛生管理に関する知識の習得

活動場所：ロードサイド初等学校

日付：・活動

2024年7月1日：活動 2.1 地域住民を対象にミシンを使った生理用布ナプキン作成トレーニング

2024年7月21日：活動 2.2 地域住民によるミシンを使った生理用布ナプキン作成実習

2024年9月9日：活動 2.3 GBN 衛生コンテストに向けた音楽パフォーマンス・グループのトレーニング

2024年9月24日：活動 2.4 生徒を対象にミシンを使った生理用布ナプキンの縫い方のトレーニング

2024年10月14日：活動 2.4 生徒によるミシンを使って生理用布ナプキン作成実習

背景

2024年、ロードサイド初等学校は Global Bridge Network（GBN）からミシン 3 台と生理用布ナプキンを作るための材料の支援を受けた。きっかけは、2023年に GBN チームがロードサイド初等学校を訪問し、学校には更衣室がないこと、生理用品がないこと、安定した水源がないため衛生状態が悪いこと、学校やコミュニティ全体における月経衛生管理に関する知識や情報の不足など、生徒、特に女子が生理期間中に直面する課題を確認した後に実現した。

各活動の進捗状況

<2024年7月1日> 活動 2.1 地域住民を対象にミシンを使った生理用布ナプキン作成トレーニング

GBN から寄付されたミシンを使って、地域住民 10 名に月経衛生管理と再利用可能な生理用布ナプキン作りに関する知識と技術を提供した。トレーニングの目的は、社会的立場の弱い女性が生理期間中に汚れた布やポリ袋、紙などの安全でないものを使用しないようにすることである。また、本活動により失業中の女性が自営業を営むのを助け、彼女たちの権利を促進し、それぞれの地域で快適な生活を送ることができるようにサポートすることである。ミシンや材料が十分でないため、地域女性を 10 名に絞り訓練し、その中から実質的に技術を習得した 4 名を選抜し、その 4 名が他のコミュニティメンバーを訓練することでプロジェクトの安定と持続可能性を確保するようにした。

活動内容

ミシンの組み立てとミシンの操作



青いTシャツを着たトレーナーの指示に従う地域の若い女性たち。

<2024年7月21日> 活動 2.2 地域住民によるミシンを使った生理用布ナプキン作成実習

この活動は、月経期間中の不衛生な衣服の使用を避けるため、再利用可能な生理用布ナプキン作りの技術を地域の対象メンバー(活動 2.1 の参加者) に提供する。月経衛生管理を促進し、また月経期間中の地域内の弱い立場にある女性の差別と闘うことを意図したものである。活動 2.1 ではトレーナーの助けを借りて布ナプキンの作成方法を学び、活動 2.2 はトレーナーの助けなしで自分たちで布ナプキン作成をした。

活動の内容

生理用布ナプキンを作るために使用する材料(布)を順番に並べる。

ミシンを使って生理用布ナプキンを縫製する。



トレーナーとともに GBN から入手したミシンを使って、生理用布ナプキン作りの技術を身につける地域の女性たち

<2024年9月9日> 活動 2.3 GBN 衛生コンテストに向けた音楽パフォーマンス・グループのトレーニング

プロジェクト終了後、ミティアナ初等学校で開催される子ども達による GBN 月経衛生管理音楽パフォーマンスのコンテストに向けた準備をした。この活動の目的は、学校内で 12 名（10-16 歳）のグループを作り、月経衛生管理の課題について、音楽ダンスや演劇を通して解決策を競う。優勝チームはスタジオで歌を録音し、その歌は保護者やコミュニティ全体に提供され、学校における月経衛生管理の課題に対する注意を喚起することで、月経期間中の病気や欠席、退学者の烙印や女子児童の差別を回避する。

活動の内容



グループ名「Maiko」の練習の様子

<2024年9月24日> 活動 2.4 生徒を対象にミシンを使用し理用布ナプキンの縫い方のトレーニング

ロードサイド初等学校に通う 12 歳の男女から選ばれた生徒 12 名たちが、熟練した教師の指導を受けながら、ミシンを使って再利用可能な生理用布ナプキンを縫う技術を習得する。



熱心に生理用布ナプキンを作る生徒たち

<2024年10月14日> 活動 2.5 生徒によるミシンを使って生理用布ナプキン作成実習

ロードサイド初等学校の活動 2.4 で学んだ生徒たちが、教師の助けを借りずに生理用布ナプキンを自分たちで作ることができた。プロジェクトの安定性と持続可能性を確保するために、これまで実施した生徒たちへのトレーニングなどの活動を振り返ることを目的とした。結果、1名につき2個布ナプキンを作成できた。



上の写真のように、再利用可能な生理用ナプキンを作る生徒たち

END